

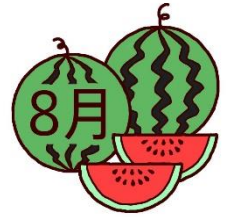


VJU
Vietnam Japan University
VNU since 1906

【日越大学メールマガジン Vol.27, 2019年8月号】

日越大学は、日本とベトナムの両政府により、両国の友好と結束の象徴として新たに設立された大学で、2016年9月にベトナム・ハノイで開校しました。

現在、修士課程に3期生80名の学生が在籍し、共通科目の日本語と英語等の習得に加え、地域研究(MAS)、企業管理(MBA)、公共政策(MPP)、ナノテクノロジー(MNT)、環境工学(MEE)、社会基盤(MIE)、気候変動・開発(MCCD)の各専攻プログラムを勉強しています。また、グローバル・リーダーシッププログラム(MGL)を2019年9月から新たに開講する予定です。



【今月のトピックス】

1 日越大学ニュース

1. 2019年第2回入学試験の実施

日越大学修士課程では、入学試験を年に2度実施しており、今年も3月と7月に実施しました。

経済発展著しいベトナムにおいて、大学院全体の受験者数は減少傾向にあるものの、日越大学では、昨年とほぼ同じ141名の受験者があり、このうち約90名超の学生が、第4期生として9月に日越大学に入学する見込みとなっています。

昨年度はミャンマーやナイジェリアといった、外国籍学生を受け入れましたが、今年度も、日本、ラオス、スリランカ、フィリピンといった、さらに多様な国籍の学生が仲間に加わる予定です。

また、今年度は新たに、地球・地域規模課題の解決を牽引できるグローバルリーダー・高度職業専門人を養成する「グローバル・リーダーシッププログラム」が開設されるため、さらに多様な、教育・研究活動が期待されています。

2. 日越大学サマープログラム2019の開催

8月18日から27日までの期間、今年で3回目となるサマープログラムを実施しました。

今年は、6日間で終了する短期プログラムと、10日間の長期プログラムの2種類を実施し、昨年の参加者13名から倍以上となる27名の学生を受け入れました。日本に留学中の中国籍学生や、4校の高等専門学校を含む11機関からの学生が集まり、昨年以上に、日越大学主催ならではの、多様な学生交流が実現できました。

プログラム内容についても、ベトナム語入門やJICA専門家によるベトナム文化・社会についての講義、ベトナム企業のCEOを招いての特別講義、さらに市内観光、ドンラム村の文化的景観や民族博物館の見学、外部のベトナム人講師による月餅作り体験、更に、在ベトナム日系企業訪問として、AEON及びAEON Mall訪問に加えて、モールより出される廃棄物のリサイクル工場

見学といった、ベトナムにおける経済発展に伴う社会問題についての学習もおこないました。また、ハノイ市内の他大学を含む学生交流プログラム、さらに日越の学生が一緒に行動する二つの世界遺産見学など、日越大学ならではの、濃密なプログラムとなりました。

サマープログラムは来年以降も継続して実施できればと考えています。



3. 日越大学附属日本語教育センター（JLEC）でのパイロット研修を開始

本パイロット研修が8月15日に始まりました。この研修は、2020年以降に予定されているJLEC事業のための試験的プロジェクトとして実施され、「反転授業」の指導技術を学び、日本語会話と文法の実践的な教え方を習得することを目的としています。受講生は6名で、ベトナムの日系企業や、日本の技能実習生受入機関で業務経験のある方々です。

オリエンテーションでは、早稲田大学日本語教育プログラムの宮崎里司教授からパイロット研修の目的についての説明がありました。また、栗飯原 JICA 専門家、松浪 JICA 専門家より、全体のスケジュール、シラバス、学習目標などの説明がありました。

この研修は、理論、実践、実習の3つの項目から構成されており、合計36時間のコースで、12月上旬まで実施されます。参加者からは、「日本語の指導力を向上したい」「多くの指導方法を学びたい」などといった意気込みが感じられました。



(パイロット研修の様子)

4. 修士論文審査会の開催

(1) 社会基盤プログラム

2019年6月24日に、日越大学社会基盤プログラムの2期生に対する修士論文審査会が行われました。

1期生では7名が修士論文を発表したのに対し、2期生には12名が発表し、人数が2倍近く増え、また、1期生と2期生の審査会では、実施の形式が大きく変わりました。1期生の審査会ではベトナム従来の審査会の形に準じて、学生の発表の前に、司会者が学生の名前、卒業した大学、日越大学での履修科目の平均点を読み上げた後に、審査委員2名が予め用意したコ

メントと質問を読み上げる形式でしたが、2期生の審査会ではこういった形式的な活動を一切省き、審査員と学生との間の質疑応答に徹し、日本の大学での審査会に準じる形になりました。

審査会において、十分な内容を説明し、かつ所定時間内に発表を終えることを教員が指導し、学生が徹底的に練習を繰り返した結果、本番の発表では学生が流暢な英語で研究成果を発表し、入学した当時の英語力から大きく成長したことが確認できました。これは日越大学における2年間の学習の成果の一つであると考えています。

12名の2期生の研究テーマは実に多様であり、「太陽光パネルの材料となるプレートの力学特性のシミュレーション」、「ベトナム全土の風力エネルギーマップの作成」、「基礎杭の形状改良の最適形状の算定」、「BRT（専用レーンで走るバス）の導入効果の分析」、「都市内地価の推定」など、いずれも実質的な課題に着目し、科学的な根拠に基づき、データの分析をおこなったり、シミュレーションをおこなったりと、実践的な成果を示すことができ、審査の結果、12名全員が合格しました。

今後、修士論文の結果を取りまとめた論文が学術誌へ投稿されており、出版される日を是非ご期待ください。



(学生による発表の様子)



(2期生と審査会に出席した教員)

(2) ナノテクノロジープログラム

6月17日にナノテク・プログラムの10名の学生が、学生、教員及びVJU関係者約30名が参加する中、最終修論発表をおこないました。また、日本側教員と共同ディレクターの渋谷教授も遠隔で参加いただきました。

修論審査会では、「癌を早期に発見するセンサーの新材料を計算科学で設計する研究」、「バイオセンサーを活用した実験研究」、また、「鉄の炭素ドーピング効果に関する研究」のテーマなどが発表され、10名の学生全員の修論研究の方向性や研究結果が高く評価されました。

卒業後、2名の学生 (Mr. Ta Thi Luong, Mr. Ho Ngoc Nam) は大阪大学 Quantum Electronic Design Course (QEDC)の博士課程に進学し、大阪大学推薦の国費奨学金を受けられることになりました。また、他1名の学生 (Mr. Nguyen Thanh Hai) は、国立研究開発法人 物質・材料研究機構 (NIMS)のジュニア研究員として採用される可能性があり、採用された場合は、生活費等を心配することなく、研究に専念できることとなります。



(2期生と審査会に出席した教員)

5. 法政大学職員インターンシップ受入

昨年に引き続き、今年も VJU と法政大学との協定に基づき、8月5日～17日の2週間、法政大学の職員（法政大学人事部人事課、佐藤宏喜さん）をインターンシップ生として受け入れました。

今回は、学生支援や教務だけでなく、人事課職員との意見交換の時間も持っていただき、先進的な法政大学の事例についてご紹介いただきました。また、ベトナム人の就業意識や大学における就職支援をテーマに、VJUの学生や職員に対してのみならず、ハノイ法科大学やハノイ大学(旧外国語大学)でもヒアリングを行った結果を取りまとめ、最終プレゼンテーションで VJU の職員に紹介いただきました。

多くの VJU の職員が、日本の大学職員としての豊富な業務知識や経験のみならず、自発的に行動する中で課題を発見し、課題解決・政策を提言するという佐藤さんの働く姿勢に感銘を受け、大学職員としてあるべき姿について改めて考える機会となったと語っています。また、佐藤さんにとっても、異なる言語や環境の中、知恵を絞って自分の力で取り組んだ経験は今後の大きな自信と糧になるに違いありません。

今後も双方の成長に繋がる本プログラムの継続と更なる発展に向けて取り組んでいく予定です。

6. 法政大学 SDGs フィールドワーク実施

8月11日から17日まで、タインホア省の LASUCO 社で、「持続可能な地域開発と企業の役割」に関するフィールドワークが実施され、法政大学から6名、日越大学側から11名の学生及び教職員が参加し、日越協働型の「サステナビリティとは何か」を学ぶユニークな協働研修プログラムが開催されました。

LASUCO 社は、日越大学と昨年、学術交流協定を結び、有機農法による「砂糖会社」から、現在では、「竹に関するエコパーク事業」にまで発展させ、9月には世界の竹の専門家を集める国際会議を誘致する企業集団として、「サステナビリティ社会」とは何かを学ぶ『もう一つの学び舎』的存在として注目を浴びています。

今回のプログラムでは、日・越の学生が寝食を共にし、お互いの壁を取り払い、協働をすすめることができ、参加した学生にとって貴重な体験となりました。



(LASUCO 社でのフィールドワーク)



(参加者の記念写真)

7. プロジェクト終了時評価、及び次プロジェクト詳細計画策定調査実施

8月8日～21日の期間、終了時評価調査団が来学しました。今回の調査目的は、(1) プロジェクト終了時における成果、実施プロセスの確認、評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）に基づく評価、及び、(2) 次期技術協力プロジェクト（TC2）の開始に向けたベトナム側関係機関（日越大学、VNU 幹部）との協議でした。

期間中、日越大学幹部、VJU 専任教員及び長期専門家等へのヒアリングが行われ、TC1に係る評価、及びTC2に向けての課題、今後の対応に関する方向性について、プロジェクト関係者間で整理をすることができました。

2 日越大学専任教員の横顔

昨年度から日越大学では、専任教員の雇用を積極的におこない、本学の教育の質の充実を図るために優秀な専任教員を採用しています。そこで、本欄にて、各プログラムの専任教員を紹介していきます。最後を飾るのは、環境工学プログラム (MEE)の Dr. Tran Thi Viet Ha 先生を紹介します。

【環境工学プログラム】

1. Name: Tran Thi Viet Ha
2. Program: Master Program of Environmental Engineering (MEE)
3. Education Background:

Dr. Ha received her Ph.D. in Environmental Engineering from Ulsan University, Republic of Korea in February 2018. Before that, she got the Bachelor's degree in Environmental Management at VNU Hanoi University of Science in 2009.

4. Process of joining VJU

After graduation, Dr. Ha worked as senior researcher at UTO Engineering company - which is focus on Environmental Engineering - in Korea. In October and November 2018, Dr. Ha joined Air Environment and Energy Research Laboratory in Civil and Environment Engineering Department, University of Ulsan, Korea as an invited lecturer. Dr. Ha joined VJU as a full-time lecturer in December 2018.



筆者の Dr. Tran Thi Viet 先生

5. Research theme

Dr. Ha's research theme is Environmental Engineering, specify in advanced materials (photocatalyst, anti-wetting/super-wetting surface etc. for environmental treatment. Her research papers appear in the top journals in Environmental Engineering or Material Science area such as Journal of Hazardous Materials, Scientific Reports, Journal of Photochemistry and Photobiology A: Chemistry, etc.

6. Future research plans and aspirations at VJU

Future research plans at VJU includes the study on the developing of advanced materials for environmental treatment. She also joined several projects at on cooperation between universities, and a Jica project for full time lecturer of VJU.

3 今後の主な予定、行事（予定）

- ✦ 9月6日 東洋英和女学院吉川教授ゼミ 来学
- ✦ 9月6日 静岡大学アジアブリッジ・プログラム(ABP)海外研修 来学
- ✦ 9月9日 第4期生入学式
- ✦ 9月18日 電経連（電機・電子・情報通信産業経営者連盟）海外研修 来学

4 人事往来

特記事項なし

5 日越大学からのお知らせ

◆ 第3期生インターンシッププログラムの実施について

9月より順次、合計で72名の修士2年次学生（第3期生）が、日本の各幹事大学を中心に、インターンシップを開始します。

実施期間は1週間程度から4か月程度まで多様ですが、必修科目であるインターンシップは、日越大学修士課程カリキュラムの大きな特色の一つで、日本の各大学において、修士論文執筆に向けた高度な研究・学習を行うとともに、企業訪問や短期実習、また日本企業担当者との面会などを予定しています。このインターンシップを通じて、研究面での成果だけでなく、日本の社会や文化への理解がより深まることが期待されており、関係する皆様方のご支援をよろしくお願いいたします。

◆ 日越大学ホームページリニューアル、日本語版ランディングページの公開

日越大学のホームページ（英語・ベトナム語）のデザインがリニューアルされました。教員陣の情報・研究成果・産学連携などの情報がさらに充実しております。

また、今回のリニューアルを機に日本語版ランディングページを立ち上げましたので、是非ともご覧ください

- ☞ 日越大学ホームページ : <http://vju.vnu.edu.vn/>
- ☞ 日本語版ランディングページ : <http://vju.vnu.edu.vn/VietnamJapanUniversity.html>



【お問い合わせ先】

日越大学・日越大学修士課程設立プロジェクトメールマガジン編集委員会

Tel: +84 (0) 247-306-6001

E-mail: mail.magazine@vju.ac.vn

日越大学 HP <http://vju.vnu.edu.vn/>

日越大学 Facebook (ベトナム語) <https://www.facebook.com/vju.edu.vn/?fref=ts>

日越大学 Facebook (日本語) <https://www.facebook.com/jicavju/>

JICA HP <https://www.jica.go.jp/project/vietnam/040/index.html>

【メール配信停止・変更】

本メールマガジンの配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、お手数ですが、日越大学・日越大学修士課程設立プロジェクトメールマガジン編集委員会 mail.magazine@vju.ac.vn までご連絡頂ければ幸甚に存じます。